

本学が目指すべき大学教員の理想の年代構成について

令和5年9月28日
学 長 裁 定

鳴門教育大学は、主として現職教員に高度な研究・研鑽の機会を確保する大学院学校教育研究科、および初等中等教育の教員を養成する学校教育学部をもつ教員養成大学であり、確かな専門性と実践力を有する教員を養成することを目的としている。

本学の教育研究の活力を維持し伸ばすために、年齢構成の偏りによる組織の硬直化を避け、一定程度の新陳代謝を常に維持することの重要性に鑑み、鳴門教育大学人事方針に則り、大学教員の適正な年代構成の実現に向け、中長期的な目標値を定めるものとする。

なお、本目標値は、今後の大学運営の方向性や社会情勢等を考慮しつつ、必要に応じて適宜見直しを図るものとする。

【目指すべき理想の大学教員の年代構成比率】

区 分	40 歳 未 満	40 歳～ 59 歳	60 歳 以 上
令和4年度末の年代構成（実績）	8%	55%	37%
令和9年度末の年代構成	12%	55%	33%
目指すべき理想の年代構成	20%	55%	25%

※長期的な目標として目指すべき理想の年代構成を設定し、中期的な目標として第4期中期目標期間末である令和9年度末の構成を設定している。